

休日特別割引導入後の交通状況等について

休日特別割引が本年3月28日から導入されて約5ヶ月が経過しました。この割引が及ぼす影響につきましては、これまでも随時お知らせしていますが、この度、お盆の結果も含め、この5ヶ月間の交通状況等として取りまとめてお知らせするものです。

1. 交通量の増加について

5ヶ月間の状況

- ・ 4月 - 7月(土日祝日)では、地方部において対前年比約16%の増、都市部(関西)において約4%の増となっており、地方部における影響が特に大きい。
- ・ お盆期間においては、地方部において対前年比約10%の増、都市部(関西)においては約2%の増となっており、地方部における影響が特に大きい。

高速道路の利用距離(今年の5月のデータ)

- ・ 対象となる休日の高速道路の利用距離は休日特別割引により大きく伸びる傾向にあり、平均利用距離は対H19年比で29%の増加となっている。(63km → 81km)
- ・ これを距離帯別に見ると、比較的短距離の利用はやや減少し、長距離の利用が大幅に増加する傾向にある。(200kmを越え 400km以下の利用は対H19年比で約70%の増)

主要な観光地最寄ICの取扱交通量(今年のお盆期間のデータ)

- ・ 今年のお盆期間の利用は、海水浴場や著名な観光地の最寄ICにおいて大きく増加している。(湯布院、舞鶴西、松山など)

以上より、休日特別割引は車での移動を誘発し、遠出をして地方の観光地に向かうきっかけになっていることから、地域経済、観光の活性化に一定の効果があるものと推測される。

2. 渋滞の増加について

5ヶ月間の状況

- ・ 4月 - 7月(土日祝日)での10km以上の渋滞は、西日本全体で対前年比約2.5倍に増えており、特に地方部では約4.8倍と著しく増加している。
- ・ お盆期間における10km以上の渋滞は、西日本全体で対前年比約1.6倍に増えており、特に中国8.3倍、四国純増(0回 → 5回)と九州を除く地方部で大幅に増加している。
- ・ 料金所での渋滞は、お盆期間においてもほとんど発生しておらず、名神豊中ICでの阪神高速からつながった渋滞2回だけであった。

定時性の比較

- ・ GW期間の5月3日において大阪から米子まで走行された方の所要時間は、多くの方が対前年比で概ね1時間増えていた(遅くなった)。これは、経路上で発生している渋滞の影響と考えられる。

バス・トラックへの影響

- ・ バス協会、全日本トラック協会が6月に割引拡大中止について要望しており、特に渋滞の緩和、駐車スペースの確保を要望している。

以上より、本線上の渋滞増加により、一般のお客様だけでなく、トラックや高速バスの運行にも支障が出てきている。

3. 事故・故障の増加について

事故状況

- ・ お盆期間においては、西日本全体で対前年比約44%増加しており、特に中国で約91%の増、四国で約67%の増と九州を除く地方部での増加が著しい。

ロードサービス出動件数(事故・故障)

- ・ お盆期間の出動件数は、西日本全体で対前年比約9%増加しており、特に中国で約34%の増、四国で23%の増と九州を除く地方部において事故・故障が大幅に増加している。
(出動理由では、燃料切れ、バッテリー上がり、事故が増加)

交通量・渋滞の増加により、事故や燃料切れなどの故障が増加しており、交通安全対策や故障者対応のさらなる強化が必要

4. サービスエリア・パーキングエリアの売上げについて

5ヶ月間の状況

- ・ 4月 - 6月では、市中店舗の売上げが対前年比3%減少したのに対し、SAPAでは西日本全体で対前年比約17%増加している。
- ・ お盆期間においても、西日本全体で対前年比約11%増加している。

NEXCO西日本では、休日特別割引に伴う収益のうち約10億円を還元して、SAPAのユニット式お手洗い、屋外エレベーター、シャワーステーションの増設を計画。
また、180箇所のうち約8割(143箇所)のSAPAで、テナントが自主的にお客様還元セールを実施している。8月までに2,740万円(還元セール実施日売上げの1.7%相当)を還元した。

以上

休日特別割引導入後の交通状況等について

1. 交通量の増加

- H21.4～H21.7(土日祝日)では地方部の交通量が約1割～約3割の増加
- 休日の平均利用距離が3割増加、200kmを超える利用が約6割～約7割増加(5月の土日祝日)
- 地方の主要観光都市の最寄ICの交通量が増加(お盆期間)

地域経済、観光の活性化に効果があったものと推測される

➤ 地域別交通量

H21.4.1～H21.7.31(土日祝日)の出口料金所での取扱通行台数の変化(高速国道)

	西日本	関西	中国	四国	九州
通行台数	1,628千台/日	802千台/日	241千台/日	148千台/日	437千台/日
対前年比	110%	104%	114%	126%	114%

集計期間 H20:H20.4.1～H20.7.31の土日祝日 38日間

H21:H21.4.1～H21.7.31の土日祝日 39日間

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)の出口料金所での取扱通行台数の変化(高速国道)

	西日本	関西	中国	四国	九州
通行台数	1,796千台/日	855千台/日	270千台/日	143千台/日	528千台/日
対前年比	107%	102%	110%	111%	111%

集計期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

➤ 高速道路の利用距離

5月の土日祝日の平均利用距離が対前々年比で63kmから81kmに約3割増加。高速道路の利用距離が伸びている。

距離別では比較的短距離の利用はやや減少し、長距離の利用が増加している。200kmを超える利用が6割～7割増加。

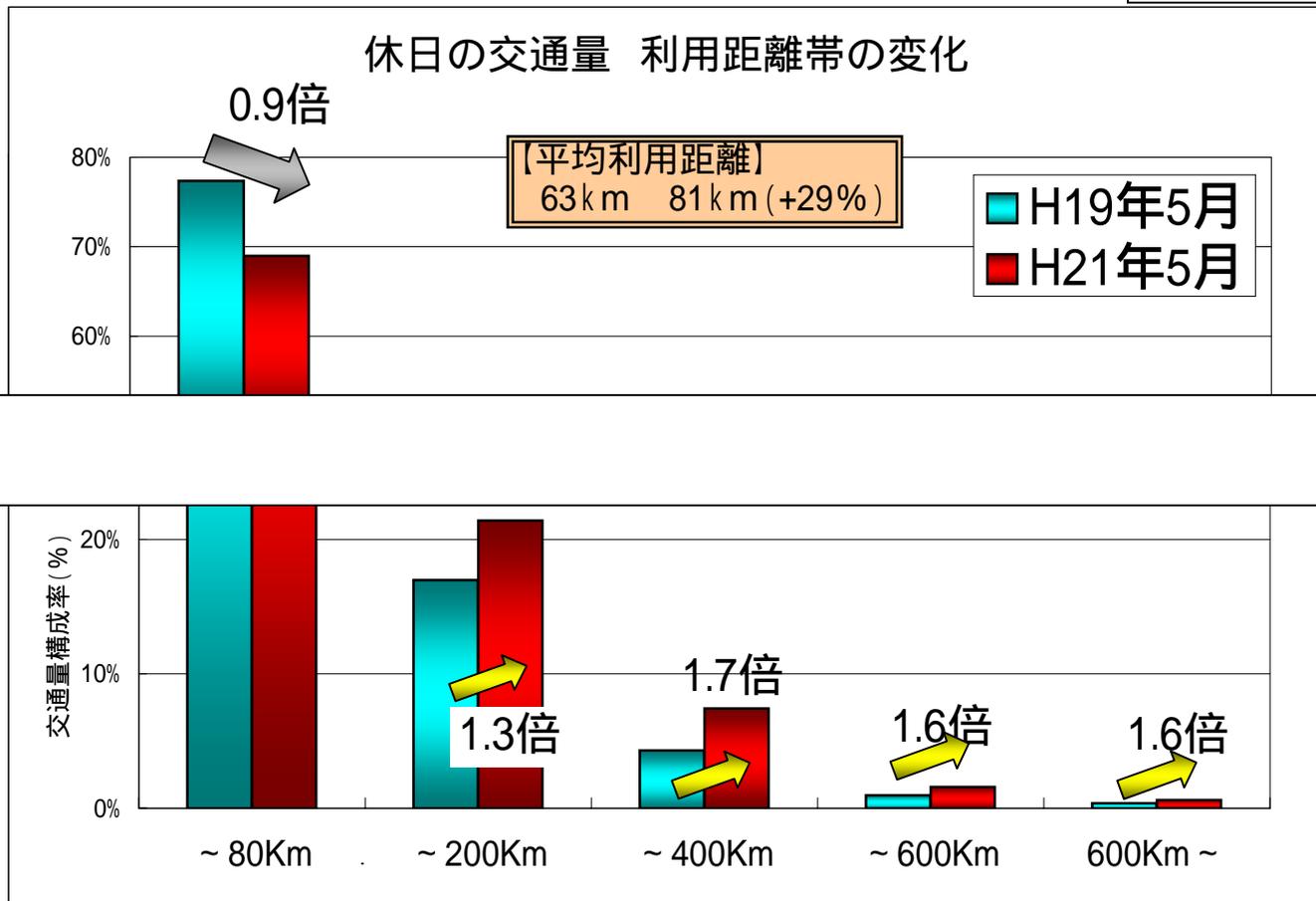
割引に伴う高速道路の利用距離帯の変化

休日特別割引による利用距離の変化を分析 (H21.5とH19.5を比較)

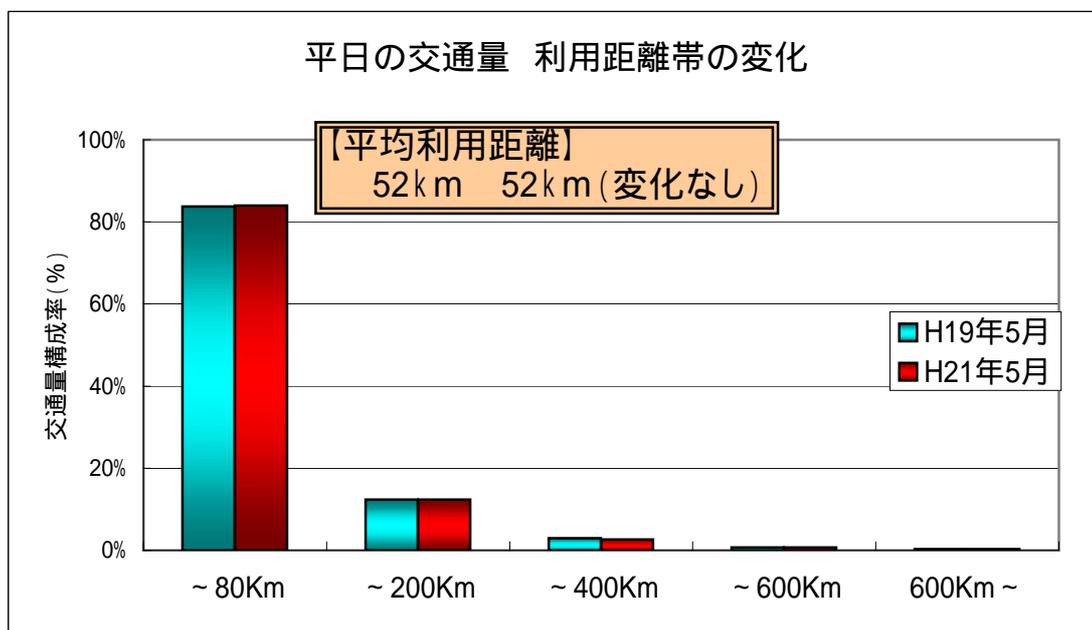
- ・割引後の料金が1,000円以下となる利用割合が10%減少
- ・200km以上の長距離利用が6~7割増加
- ・平均利用距離が3割増加 (63km → 81km)

全車種・ETC車

休日の交通量 利用距離帯の変化



平日の交通量 利用距離帯の変化



➤ 主要観光地の最寄 IC の取扱交通量について

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)の主要観光地の最寄 IC の取扱交通量

都道府県名	路線名	箇所名	出入取扱台数(台/日)		対前年 比	主な観光地
			H20	H21		
京都府	舞鶴若狭道	舞鶴西	3,100	4,100	132%	天の橋立など
和歌山県	阪和道	南紀田辺	17,000	19,200	113%	白浜温泉、南紀白浜アドベンチャーワールドなど
岡山県	山陽道	倉敷	10,900	11,500	105%	倉敷美観地区など
岡山県	米子道	蒜山	4,200	4,400	103%	蒜山高原など
島根県	浜田道・ 江津道路	浜田・ 浜田東	8,400	8,700	104%	石見銀山、 しまね海洋館など
香川県	高松道	善通寺	11,600	13,300	115%	金刀比羅宮など
愛媛県	松山道	松山	18,200	22,600	124%	道後温泉など
長崎県	長崎道	長崎	6,400	7,900	123%	大浦天主堂、グラバー園など
大分県	大分道	湯布院	7,300	9,700	133%	湯布院温泉、久住高原など

集計期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

2. 渋滞の増加

- H21.4～H21.7(土日祝日)では10km以上の渋滞が約2.5倍。特にこれまで渋滞の発生回数が少なかった地方部で渋滞回数は約4.8倍に増加。
- 渋滞により高速道路の定時性が損なわれている(GW期間)
- バス協会、全日本トラック協会が割引拡大中止について要望

渋滞により、一般のお客様だけでなく、トラックや高速バスの運行に支障

H21.4.1～H21.7.31(土日祝日)の10km以上の渋滞回数

	西日本	関西	中国	四国	九州
渋滞回数	265回	161回	45回	16回	43回
前年比	248%	189%	439%	390%	599%

集計期間 H20:H20.4.1～H20.7.31の土日祝日38日間

H21:H21.4.1～H21.7.31の土日祝日39日間

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)の10km以上の渋滞回数

	西日本	関西	中国	四国	九州
渋滞回数	145回	99回	25回	5回	16回
前年比	156%	136%	833%	純増	94%
うち料金所渋滞	2回	2回	0回	0回	0回

集計期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

H21年の料金所渋滞2箇所は名神豊中IC

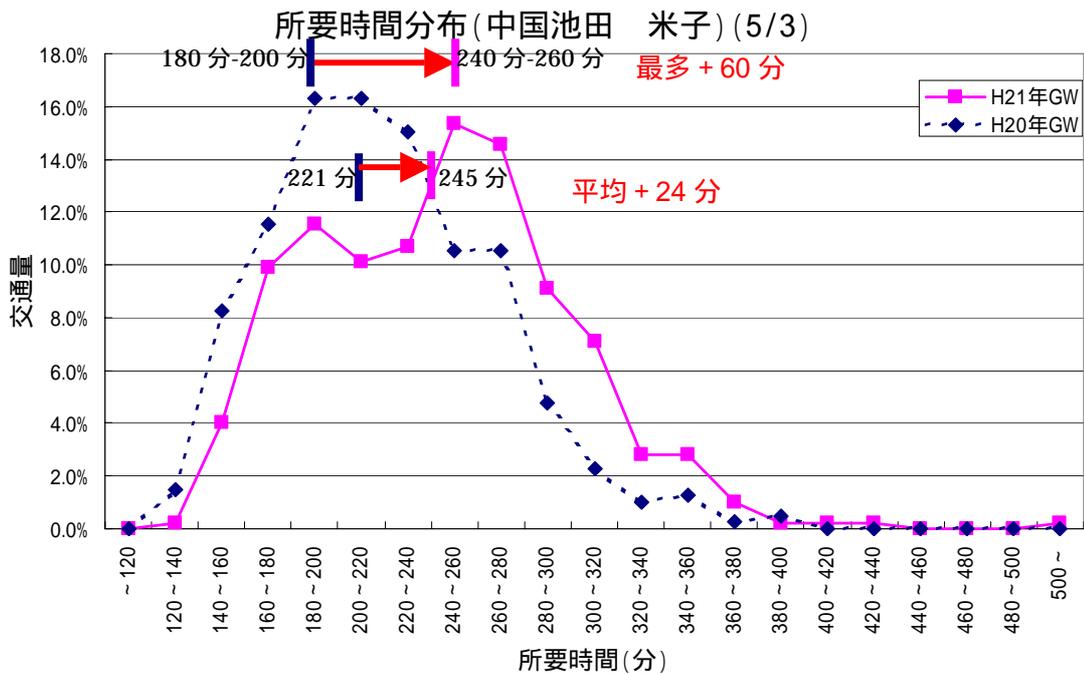
➤ 定時性の比較(ETC データにより GW の所要時間を分析)

【これまで渋滞が少なかった米子道利用の実態を比較】

大阪 米子(鳥取県)間(約 230km)のGW期間中の 5月3日の所要時間をETCデータにより

集計 **最多発見 180~200分が 240~260分に(約60分程度の遅れ)**

平均 221分が 245分に(24分の遅れ)

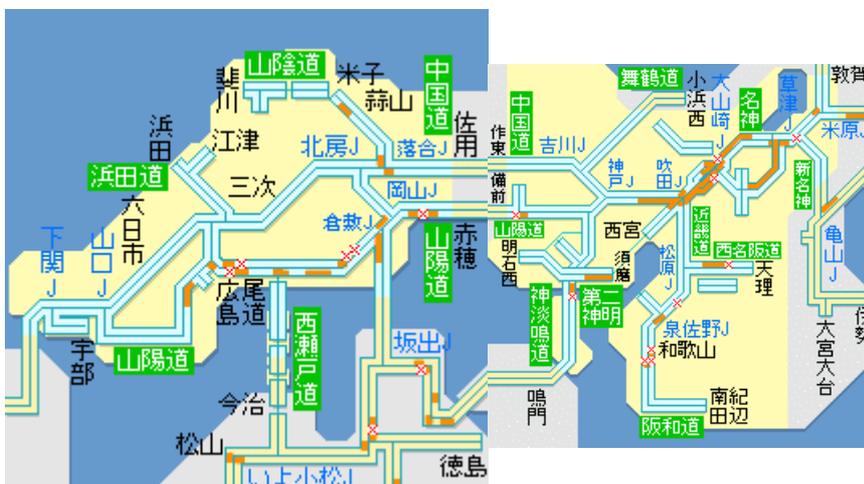


H20GW: H20.5.3 (祝) 5:00 ~ 17:00

中国池田 IC を流入し米子 IC を流出した ETC 車(全車種)、対象台数 399 台

H21GW: H21.5.3 (祝) 5:00 ~ 17:00

中国池田 IC を流入し米子 IC を流出した ETC 車(全車種)、対象台数 495 台



H21.5.3 10:00 頃の近畿 ~ 中国地方の渋滞状況(携帯交通情報サイト・アイハイウェイ)

3. 事故・故障の増加

- お盆期間中の、高速道路上での事故が約4割増加。特に中国、四国などの地方部で増加。
- 高速道路上での事故・故障等による道路管制センターへの通報の件数が約2割、JAFの夏期ロードサービス実施件数では約1割増加。特に中国、四国などの地方部で増加。

交通量・渋滞の増加により、交通安全対策や故障車対応のさらなる強化が必要

➤ 事故・故障件数

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)の事故件数

(NEXCO西日本調べ)

	西日本	関西(吹田)	中国(広島)	四国(高松)	九州(太宰府+沖縄)
事故件数	906件	352件	280件	55件	219件
対前年比	144%	140%	191%	167%	112%

集計期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)の道路管制センターへの通報件数

(NEXCO西日本調べ)

	西日本	関西(吹田)	中国(広島)	四国(高松)	九州(太宰府+沖縄)
通報件数	2,996件	660件	959件	324件	1,053件
対前年比	118%	117%	133%	117%	109%

集計期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

吹田・広島・高松・太宰府・沖縄の各道路管制センターで交通事故や故障車などを受信した件数

お盆期間中(H21.8.8～H21.8.16)のロードサービス実施件数(四輪車+二輪車)(高速道)

(JAFホームページより)

	西日本(関西+中国+四国+九州)	関西	中国	四国	九州
ロードサービス実施件数	2,394回	1,075回	565回	218回	536回
対前年比	109.2%	103.0%	133.6%	123.2%	97.8%

出動理由では、燃料切れ、バッテリー上がり、事故が増加。

集計期間 H20:H20.8.9(土)～H20.8.17(日)9日間

H21:H21.8.8(土)～H21.8.16(日)9日間

4. サービスエリア・パーキングエリアの売上

- 市中店舗の売上が対前年割れの中、高速道路のSAPAの売上は対前年比増。
- お盆はGWに比べて増分が少ないが深夜から早朝にかけての移動が増え、SAPA販売時間外にSAPAをご利用されたお客さまが増えたものと類推。

休日特別割引に伴う収益の一部(10億円)を還元。SAPAにユニット式お手洗い、屋外用エレベータ、シャワーステーションの増設を計画

180箇所のうち約8割(143箇所)のSAPAでテナント独自の割引還元セールを実施。8月までに2740万円を還元した(還元セール実施日の売上額の1.7%相当額)。

市中店舗との比較(H21.4.1～H21.6.30)

(市中店舗データ:経済産業省調査統計部「商業販売統計速報」より)

	西日本全体	関西	中国	四国	九州
SAPA 売上	116.7%	105.9%	122.2%	121.9%	123.2%
市中店舗	97.1%	96.7%	97.2%	98.4%	97.6%

市中店舗は百貨店・スーパー・コンビニエンスストアの合計値

お盆期間中(H21.8.6～H21.8.16)のSAPA売上

	西日本全体	関西	中国	四国	九州
売上(税抜き)	6,423,083千円	2,070,050千円	1,873,866千円	454,318千円	2,024,849千円
対前年比	110.5%	110.2%	109.5%	107.4%	112.4%

GW対前年比	122.3%	111.3%	129.5%	126.5%	126.2%
--------	--------	--------	--------	--------	--------

お盆期間 H20:H20.8.7(木)～H20.8.17(日)11日間

H21:H21.8.6(木)～H21.8.16(日)11日間

GW期間 H20:H20.4.26(土)～H20.5.7(水)12日間

H21:H21.4.25(土)～H20.5.6(水)12日間

5. 渋滞対策の状況について

- 駐車場での混雑対策として、延べ1,800人(前年比2.3倍)の整理員と390人の大型車専属整理員を配置し、一定の効果(お客様からの駐車場に関する苦情がGWの15件から6件に減少)があった。
- 携帯交通情報サイト・アイハイウェイのアクセス数が1日5.6万件(8月15日)と過去最高を記録し、お客様への浸透が進んでいることが裏付けられた。
- 山陽道 吉備SA(下)、中国道 勝央SA(上)にて、8月6日～8月16日にかけて23:30から翌朝5:00まで、営業時間外のレストランをサブ休憩所的に開放した。勝央SA(上)では8月9日23:30から翌朝5:00に160人のお客さまにご利用いただいた。(8月9日20:00～8月10日17:00 中国道 美作～山崎 降雨通行止め)

他の交通機関への影響

- JR 等鉄道、フェリー、国内航空などの需要が減少
- バス協会、全日本トラック協会が割引拡大中止について要望

- JR 等鉄道、フェリー、国内航空などの需要について

お盆期間中(H21.8.7～H21.8.18)の鉄道の乗客数対前年比(各鉄道会社発表資料より)

	JR 西日本 (新幹線)	JR 西日本 (在来特急)	JR 四国	JR 九州 (新幹線)	JR 九州 (在来特急)
乗客数(対前年比)	91%	87%	85%	86.4%	93.9%

集計期間 H20:H20.8.8(木)～H20.8.19(火)12日間

H21:H21.8.7(木)～H21.8.18(火)12日間

H21.4.1～H21.6.30のフェリーの乗客数対前年比(四国運輸局、九州運輸局発表資料より)

	高松-宇野	松山-宇品	九州-阪神
乗客数(対前年比)	70.1%	82.3%	77.7%

H21.4.1～H21.7.31の関西国際空港の乗客数対前年比(関西国際空港(株)ホームページより)

	国際線	国内線
乗客数(対前年比)	79%	73%

➤ バス協会、全日本トラック協会の要望

高速バス

日 時:平成 21 年 6 月 16 日

要望先:西日本高速道路株式会社 代表取締役会長 石田孝

要望元:社団法人バス協会 会長 堀内光一郎

高速バス委員会 委員長 小田征一

要望内容

- ・ 公共輸送機関である高速バス事業等への影響を考慮し、お盆や年末年始の平日へのマイカー高速道路料金の引下げ施策の拡大については、行なわないで頂きたい。
- ・ 高速バス事業の定時性確保を図るため、バスの優先的な渋滞緩和策を図って頂きたい。併せてサービスエリア、パーキングエリアにおけるバス駐車場と出入レーンを確保して頂きたい。
- ・ 公共交通優先、環境負荷の軽減に資するため、公共交通優先の対策としてバス利用促進を図るため、高速バスに係る高速道路料金を更に大幅に低減するなど適切な料金体系を検討・実施するほか、バス事業に係る支援を一層充実して頂きたい。

トラック

日 時:平成 21 年 6 月

要望先:国土交通大臣 金子一義

要望元:社団法人全日本トラック協会 会長 中西英一郎

要望内容

- ・ 千円乗り放題の多客期・平日への適用拡大については、極力見合わせていただきたい。
- ・ 多客期における高速道路の大渋滞の緩和策を十分検討いただくとともに、新たな施策によって著しい遅延が生じた場合には、公共運輸サイドの損失に対し、適切な対策を講じていただきたい。
- ・ 大混雑時に、サービスエリア等における大型車用の駐車・休憩スペースが乗用車によって占拠され、大型車が利用できないような事態を生ずることのないよう、各道路会社において適切な措置を講じていただきたい。